

【課程一 2】

審査の結果の要旨

氏名 パタムマヴォン ウタヴォン

コミュニティにおける産前ケア(Community-based ANC)は、ラオスにおいて最近取り入れられた母子保健戦略である。先行研究では、医療機関における妊婦健診等の産前ケア (Hospital-based ANC) が、医療施設分娩と関連があるということが、繰り返し指摘されてきた。しかしながら、Community-based ANC が母子保健サービスの有効活用に与える影響を詳細に検証した研究は少なく、特に途上国においては稀であった。そこで、本研究では、ラオスの地方部において、(1)母子保健サービスの活用状況を評価し、(2) Community-based ANC が母子保健サービス活用状況に与える影響を評価することを目的とした。母子保健サービスの活用状況を知る際に調査項目として用いたのは、目的(1)では妊婦健診、医療施設分娩、妊娠可能年齢女性に対する破傷風トキソイド接種、小児予防接種であった。目的(2)では Community-based ANC が医療施設分娩を促進する上での役割、妊娠可能年齢女性に対する破傷風トキソイド接種状況、小児予防接種状況であった。

1. 回答があった全 853 人の平均年齢は、25.3 歳、回答者の子供の平均年齢は 11.8 ヶ月であった。全回答者の内訳は、Midland Lao (Khmou)族が 464 名(54.4%)、Highland Lao (Hmong)族が 250 名(29.3%)、Lowland Lao 族が 139 名(16.3%)であり、全体の 83.7%がいわゆる少数民族であった。宗教に関してはアニミストと回答した者が 85.1%であった。学校教育を受けたことが無いと回答した者は 72.8%で、その配偶者の場合は 51.1%であった。年間世帯収入の中央値は、米ドルにして \$200 (interquartile range, IQR: US\$50-380)であった。
2. 853 名の回答者の中で、1 回以上妊婦健診を受診したものは 307 名 (36.0%)であり、そのうち Hospital-based ANC を受診した者は 77.2%、Community-based ANC を受診した者は 19.2%であった。853 名の回答者のうち 183 名 (21.5%)は、最近出産した際の分娩場所を医療施設と回答しており、399 名 (46.8%) は分娩時に新生児破傷風に対する破傷風トキソイド予防接種を受けてい

た。853名の回答者の子供における、小児予防接種の完遂率は27.3%であった。

3. 母親の教育歴、出産回数、医療施設までの距離で調整して一元配置共分散分析 (one-way analysis of covariance) の手法を用いて解析したところ、Hospital-based ANC 利用者群、Community-based ANC 利用者群、ANC を利用しない群の間で、周産期の知識に関して統計学的有意差がみられた ($p<0.001$)。
4. 共変量(covariates)で調整して解析したところ、医療施設分娩と Community-based ANC 利用者との間に、統計学的に有意な関連は見られなかった($p=0.59$)。Hospital-based ANC 利用者群では、ANC を全く利用しない群に対して約6倍、医療施設分娩が実施されていた ($p<0.001$)。また、Hospital-based ANC 利用者群と Community-based ANC 利用者群では、ANC を全く利用しない群に対して約2倍、破傷風トキソイド接種による新生児破傷風の予防対策がとられていた。小児予防接種の完遂状況は、全くANCを利用しない母親の子供に対して、Hospital-based ANC 利用者である母親の子供は1.9倍、Community-based ANC 利用者である母親の子供は2.2倍高かった。
5. 本研究はラオスの地方部に居住する者を対象として実施し、回答者のうち83.7%は、ラオスの地方部に居住する少数民族であった。本研究により、これらの人々における Community-based ANC の利用状況が明らかとなり、Community-based ANC が破傷風トキソイド接種による新生児破傷風の予防および小児予防接種実施を推進している可能性が示された。同時に、Community-based ANC が医療施設分娩の推進および周産期の知識の向上に貢献しているとはいえ、Community-based ANC のサービスの質の向上が必要であることも示された。

以上、本論文はラオスの地方部における産前ケアの利用状況および、各種の保健アウトカムに関連している産前ケアの種類を明らかにした。本研究は、各種の産前ケアが保健アウトカムを更に向上させるために有益な情報を提供するものであり、学位の授与に値するものと考えられる。